



全一心

令和5年度 学校便り
令和5年 4月
NO 2

役割が人を育てる

年度替わりの時期に「役割が人を育てる」ということをよく感じます。

学校の中では、年度が替わるということは子どもたちの立場から見ると「学年が一つ上に上がる」こととなります。このとき、学校という集団の中では同時に役割の交代も行われます。例えば、「集団登校班の班長の交代」です。班長の立場に立つことで、下級生のことを気かけ面倒を見、歩く速度を考えたりなど、その役割に応じて責任と自覚が芽生えてきます。

役割を受け持つことで成長することは、学校の最高学年である6年生が最も顕著です。学校のリーダーとして、朝の活動、授業や行事での取り組み、代表としてのあいさつ、1年生のお世話、委員会活動でのリーダーシップなど、役割によって経験することが多くなり、そのことが子どもたちの成長にプラスに働いています。

このことを感じるたびに、私自身は、一教師として、あるいは一人の大人として（親として）、「子どもに役割を任せ、様子を見て、必要な助言をしながら、頑張れたことを褒める」ことができているだろうか、と、自問自答しています。

今年も、子どもたちは、年度替わりのこの時期に精一杯頑張っています。それを見逃すことなく、支援したり褒めたりしていきたいと考えています。



参観日、ありがとうございました

4月21日（金）の、本年度最初の参観日では、多数のご参観ありがとうございました。

子どもたちにとっては、保護者が来られて「自分を見てくれる」ことが大きな励みになっていて、いつもに増して目を輝かせていました。

ある学年では、廊下を歩いているときりに廊下の方を見る子どもたちがいました。「おうちの方が来るのを、心待ちにしているのだなあ」と思いました。

これからの参観日も、ぜひ多数おいでいただき、お子さんを励ましていただけますようお願いいたします。



体験活動の充実を目指して

体験活動とは、文字どおり自分の身体を通して実地に経験する活動のことであり、子どもたちがいわば身体全体で対象に働きかけ、関わっていく活動のことです。ネットやゲーム、SNS が拡大している昨今において、今後重視すべきは、ヒト・モノや実社会に触れ、関わりあう「直接体験」だと考えます。



体験活動（特に直接体験）には、次のような点において効果があると考えられます。



- ①現実の世界や生活などへの興味・関心、意欲の向上
- ②問題発見や問題解決能力の育成
- ③思考や理解の基盤づくり
- ④教科書の「知」の総合化と実践化
- ⑤自己との出会いと成就感や自尊感情の獲得
- ⑥社会性や共に生きる力の育成
- ⑦豊かな人間性や価値観の形成
- ⑧基礎的な体力や心身の健康の保持増進

本校では、そういった効果もねらいながら、かわみなみ学やふるさと教育、キャリア教育に取り組んでおり、例えば、2年生の芋づくり、4年生の福祉体験、5年生の田植えなど体験活動を教育課程に位置付けています。地域のことを、地域の方に教わる機会は、どこの学校にも負けないほど多くの機会を設けてます。

昨年度は、「米作り・米粉からドーナツづくり・軽トラ市での販売体験」という活動にも取り組みました。子どもたちが経験する体験活動をさらに意義あるものへとしていき、子どもたちの力を伸ばしていきたいと考えます。そのためには、保護者の皆様のご協力・ご支援が欠かせません。これまで同様、どうぞよろしくお願いいたします。

5月行事

日	曜	行 事	日	曜	行 事
2	火	図書館開館	16	火	フッ化物洗口
3	水	憲法記念日	17	水	体力テスト、登校班長会
4	木	みどりの日	18	木	給食試食会1の1、心臓健診1年
5	金	こどもの日	19	金	給食試食会1の2、あけぼの会1・6年、知能検査2・5年
8	月	個人面談①、田植え5年	23	火	フッ化物洗口
9	火	個人面談②、眼科検診1年	24	水	内科検診1年・4の1
10	水	個人面談③	26	金	内科検診2年・4の2
11	木	あけぼの会3・4年	29	月	教育相談アンケート
12	金	遠足（1～5年）※6年生は通常とおり	30	火	内科検診5年・3の1、尿検査1次
15	月	なかよし清掃班会	31	水	内科検診6年・3の2、尿検査1次